

## IBM API Connect Reserved Instance

本「サービス記述書」は IBM がお客様に提供する「クラウド・サービス」について規定するものです。お客様とは、契約を結ぶ当事者、その許可ユーザーおよび「クラウド・サービス」の受領者を意味します。適用される「見積書」および「証書 (PoE)」は、別途「取引文書」として提供されます。

アプリケーションおよびサービスを構築、実行、管理するための IBM のオープン・スタンダード・クラウド・プラットフォームである IBM Bluemix は、「クラウド・サービス」の技術上の前提条件です。新規ユーザーは、オンライン登録フォーム (<https://console.ng.bluemix.net/registration>) によりアクセス登録ができます。

### 1. クラウド・サービス

#### 1.1 IBM API Connect Professional Reserved Instance

本「クラウド・サービス」は、API およびマイクロサービスの作成、実行、管理、およびセキュリティ保護を可能にします。API の開発者やベンダーはエンタープライズ・グレードのセキュリティ・ポリシーを使用して API を設計することができます。また本「クラウド・サービス」により、組織境界や環境を越えて API を共有し、API の使用状況に対する洞察を得ることができます。また、お客様のコンピューティング環境で使用する場合、1つのデータセンター内で限られた数量のノードをクラスター化する機能が追加されます。この Reserved Instance オファリングに含まれる「IBM プログラム」は、IBM API Connect Professional です。

#### 1.2 IBM API Connect Enterprise Reserved Instance

本「クラウド・サービス」は、上記の API Connect Professional Reserved Instance の機能を提供します。さらに、お客様のコンピューティング環境で使用する場合、1つのデータセンター内および複数のデータセンターにわたる多数のノードのクラスタリングに対する追加的なサポートを提供します。この Reserved Instance オファリングに含まれる「IBM プログラム」は、IBM API Connect Enterprise です。

### 2. セキュリティーの内容

本「クラウド・サービス」は、IBM の「IBM SaaS」に関する「Data Security and Privacy Principles」 (<http://www.ibm.com/cloud/data-security> で入手可能) および本セクションの追加条件に従うものとします。IBM の「Data Security and Privacy Principles」が変更される場合であっても、それにより「クラウド・サービス」のセキュリティのレベルが低下することはありません。

保護対象のデータの処理およびデータの特性により提示されるリスクに対して技術的および組織上のセキュリティ対策が適切であると、お客様がデータ管理者として判断する場合には、本「クラウド・サービス」を使用して、個人データが含まれるコンテンツを処理することができます。お客様は、本「クラウド・サービス」ではセンシティブ個人データや追加の規制要件の対象となるデータを保護するためのフィーチャーが提供されないことを認識しています。お客様は、IBM がコンテンツに含まれているデータのタイプを把握していないこと、および「クラウド・サービス」の適合性や適用中のセキュリティ保護に関して評価を行えないことに同意します。

### 3. テクニカル・サポート

「クラウド・サービス」のテクニカル・サポートは、オンライン問題報告システムを介して提供されます。IBM は、テクニカル・サポートの連絡先情報ならびにその他情報およびプロセスを規定する IBM Software as a Service Support Handbook を提供します。テクニカル・サポートは「クラウド・サービス」と共に提供されるものであり、別個のオファリングとして提供されるものではありません。

### 4. エンタイトルメントおよび課金情報

#### 4.1 課金単位

「クラウド・サービス」は、「取引文書」に記載された課金単位に基づいて提供されます。

- a. 「100 万 API 呼び出し」は、「クラウド・サービス」を取得する際の課金単位です。「API 呼び出し」は、プログラマブル・インターフェースによる「クラウド・サービス」の呼び出しです。お客

様は、お客様の「証書」または「取引文書」に定める課金期間中に、「API 呼び出し」の総数 (100 万単位で切り上げ) をカバーするのに十分なエンタイトルメントを取得しなければならないものとします。

- b. **「10 万 API 呼び出し」**は、「クラウド・サービス」の超過料金を算出する際の課金単位です。「API 呼び出し」は、プログラマブル・インターフェースによる「クラウド・サービス」の呼び出しです。課金期間中に、お客様のエンタイトルメントで規定された数量を超えて使用された「API 呼び出し」の総数 (10 万単位で切り上げ) をカバーするのに十分な超過料金が算出されます。

## 4.2 超過料金

課金期間中の「クラウド・サービス」の実際の利用が、「PoE」に記載されたエンタイトルメントを超える場合には、かかる超過が生じた月の翌月に、「取引文書」に記載された料金で超過料金が請求されます。

## 5. 期間および更新オプション

「クラウド・サービス」の期間は、「PoE」に記述されるとおり、「クラウド・サービス」へのお客様のアクセスについて、IBM がお客様に通知した日に開始します。「PoE」には、「クラウド・サービス」が自動的に更新されるか、継続利用ベースで続行されるか、期間満了時に終了するかが記載されます。

自動更新の場合には、お客様が期間満了日の少なくとも 90 日前までに書面により更新しないことを通知する場合を除き、「クラウド・サービス」は、「PoE」に定める期間につき自動更新されます。

継続利用の場合は、「クラウド・サービス」は、お客様が 90 日前までに書面により終了を通知するまで、月単位で継続利用することができます。「クラウド・サービス」は、かかる 90 日の期間後の暦月末日まで引き続き利用することができます。

## 6. 追加条件

### 6.1 共通事項

お客様は、IBM が広報活動またはマーケティングのコミュニケーションにおいて、お客様を「クラウド・サービス」の利用者として公に言及できることに同意します。

### 6.2 イネープリング・ソフトウェア

IBM API Connect Enterprise Reserved Instance には、「クラウド・サービス」の利用を円滑化するためにお客様がお客様のシステムにダウンロードできるイネープリング・ソフトウェアが含まれます。お客様は、「クラウド・サービス」の利用に関連してのみ、イネープリング・ソフトウェアを使用することができます。お客様に提供されるイネープリング・ソフトウェアは IBM DataPower Gateway Virtual Edition です。